

アトムズカップリング〈補修用〉 ERタイプ 取扱い説明書

この度はアトムズカップリングERタイプ(以下ERと略します)をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。取付け作業前にこの説明書を必ずお読みください。

1 トルクレンチと六角棒ソケットをご用意ください

型番・サイズなど下表をご確認ください。



トルクレンチ



六角棒

ER 有効止水幅・トルク寸法表

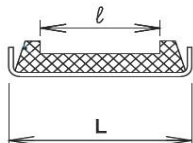
呼び径 (A)	ケーシング幅 L (mm)	有効 止水幅 ℓ (mm)	ボルト径	六角棒サイズ	トルクレンチ 型番	標準締付け トルク値 (N・m)	最高使用 圧力 (MPa)
				ボルト巾×角ドライブ			
15	27	10	M6	5×9.5	QL25N-MH または QL50N-MH	5~7	1.0
20							
25							
32							
40							
50	40	18	M8	6×9.5	QL50N-MH	10~12	1.0
65							
80							
100							
125							
150	60	29	M12	10×9.5	QL50N-MH	20~24	0.8
200							
250							
300							
300							

2 止水幅をご確認ください

管の漏洩箇所の軸方向最大幅は何mmありますか？漏洩箇所が有効止水幅の範囲内であることをご確認ください。上表の有効止水幅をご参照ください。

(注) 管の漏洩箇所周辺のER接触箇所は必ず下記修正または養生をお願いいたします。

1. 凸部はヤスリなどで滑らかになるように削ってください。
2. 著しい凹みはバテなどを使用して、滑らかになるように修正してください。パイレンチやチャックなどのキズは、ヤスリ、サンダーなどで滑らかにしてください。
3. サビは除去してください。



3 マーキング

漏洩部がERの中心に来るよう、装着箇所を管にマーキングしてください。L寸などは、上表をご参照ください。

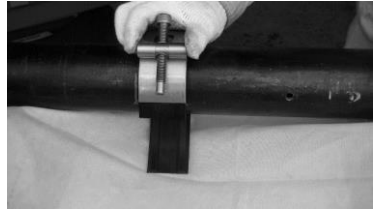


(裏面へ)

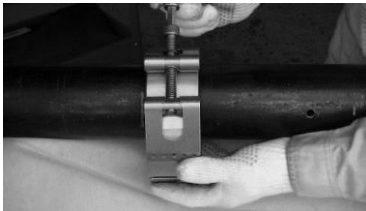
※埋設配管でご使用の際は、防食テープなどで養生を施してください。



1. まず、2本のボルトをはずします。



2. 先にボルト側ケーシングのスライド板がある方をマーキングに合わせながら、漏洩部の反対側にはめ込みます。その時、漏洩部がゴムの合わせ目に重ならないよう、少しオーバーラップ気味に合わせてください。



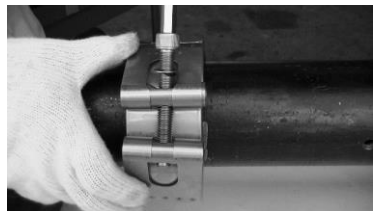
3. 次にナット側ケーシングをはめ込みます。この時ゴムが重ならないようご注意ください。また二つのスライド板が、各々ケーシングに引っ掛からないようよく確認しながら差し込みます。ナットにボルトを仮付けします。六角棒で合わせると便利です。



4. 仮止めです。ここまで入れると反対側のボルトが締めにくくなります。前写真の如く1山か2山かじり位で充分です。



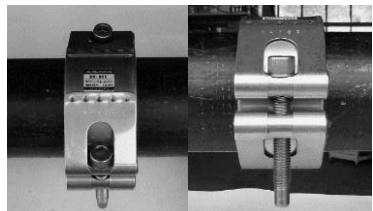
5. 反対側のボルトを六角棒で締めます。



6. 上の写真はパーワッシャーとバーナットが並行になっていません。ボルトがかじる危険がありますのでご注意ください。



7. トルクレンチを使用して表の締付けトルク値を目安に2本のボルトを交互に締付けます。



8. ボルトが片側に寄らないよう、また片締めにならないよう注意しながらトルク値まで締めたら作業完了です。